



創立 昭和34.6.9 承認 昭和34.6.27
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内
電話 0235 (24) 7711
例会場 鶴岡市馬場町 産業会館5階ホール
例会日 毎週火曜日 午後 12:30~1:30

第1473回例会 会報

幹事 若生恒吉
会長 市川輝雄
クラブ奉仕 佐藤 昇

ロータリーに活力を
あなたの活力を
PUT LIFE INTO ROTARY-
YOUR LIFE

1988 (昭 63.9.6) 天候 曇り一時雨

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔
国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓氷節雄

出席報告：会員 83 名 出席 53 名

出席率 71.01% 前回出席率 77.14%
修正出席 68 名 確定出席率 84.29%

会 長 報 告

市川輝雄君

二百十日も過ぎて陽の光もどことなく柔らぎ、蝉も次第に鳴りをひそめました。すでに秋の気配であります。

先日、商用で秋田県の本荘市と秋田市の中間にある岩城町亀田という所へ行って参りました。そこのお店で「先日、鶴岡から酒井の殿様がおいでになりましたよ」と聞かされました。

戊申の役で初戦において連戦連勝の荘内藩は、遠く秋田県内を席捲し、秋田佐竹藩の城下をおびやかすほど破竹の勢いでしたが、船川に上陸した新手の官軍のために次第に後退を余儀なくされるのであります。当時、亀田藩は二万石の小藩ですが、信州川中島から移封された岩城吉隆が藩祖で、真田幸村の娘を奥方としているほどの気骨のある家系です。戊申の役でも列藩同盟の盟約をあくまで貫ぬき、荘内藩と共に官軍に抵抗、遂には城を捨てて、遠く荘内に身を寄せるに至りました。酒井家では鶴ヶ岡城に藩主や主臣、その家族などを手厚く迎えたそうであります。

星移り時変り、今、亀田の町は田舎にはまれな観光の町として変貌しつつあります。コンクリート造

りではない、木と漆喰の壮大な天守閣や、史跡保存伝承の里「天鷲村」は一見に値する観光施設であります。120年を経てなお酒井家と岩城家の交流を耳にして、時を越えたあたたかい友情を感じ、ご紹介しました。

○ 8月6日理事会報告

1. 新入会員の委員会所属は、次のとおりです。
阿部 貢君 S.A.A 30周年記念(総務)
富田利信君 世界社会奉仕 30周年記念(式典)
2. 佐藤友吉君より入会15年、70才になりましたので、出席免除の要請があり、それを承認しました。
3. I.G.F特別委員会からの報告がありました。本日、プログラム及び役員配役を佐々木委員長より発表します。
4. 米山記念奨学会より、中野清吾君より特別寄付があり、米山功労者として推薦するという連絡がありました。

幹 事 報 告

若生恒吉君

1. 八幡R.Cの斎藤俊雄会長急病の為に、7月20日より高橋寿昭君に交替
2. 例会変更のお知らせ

ロータリアン日記 ○月○日

スポーツ少年団

汗と砂ぼこりにまみれて白球を追う子供たち。声を限りにチームの応援をする子供たち。残暑暑い日にもかかわらず、投げる、打つ、走る、そして尽きることなく続けられる声援。この日、遊佐町藤崎の町野球場は湧きに湧いた。

鶴岡・田川、酒田・飽海両地区から2チームずつのスポーツ少年団が出場して行われた「第2回 荘日杯争奪スポ少野球庄内選手権大会」(荘内日報社主催)。薄曇りの空から時折り鋭い輝きをみせる太陽。風はあるものの、いかにも「残暑」と

いった感じの蒸し暑さ。その中で熱戦が繰り広げられた。

各チームとも必死の攻防。エラーもあれば、ファインプレーも出た。日ごろの練習の成果を十二分に発揮できた子供たちもいれば、チョッピリ残念な気持ちだった子供たちもいただろう。とにかくみんな一生懸命にやった結果。失敗はこの次活かせばいい。成功は自信になったはず。

一生懸命といえば、試合に出なくとも「ボーイソプラノ」を響かせてくれた低学年の子供たち。叱咤激励する監督、コーチ、父兄の方々。選手以上に力が入っていた。また、審判、会場準備をしてくれたみなさん。本当に御苦労様でした。

荘 司 俊 治

- ・鶴岡東R.C 一周年記念例会の為
9月14日の例会を9月14日6時30分点鐘
場 所 グランド エル・サン
登録料 3,000円

- 3. ローターリー文庫の案内到着
- 4. 志藤年度月信集到着

- 5. 会報到着 鶴岡西R.C、鹿児島西R.C
- 6. 当クラブ例会変更
「4クラブ合同親睦例会」
日 時 9月28日 6時30分
場 所 グランド エル・サン
登録料 2,000円

新入会員スピーチ

建 前 と 本 音

小 松 稔 君



建前と本音という課題はいつの時代にも議論し尽せないテーマとして現在に至っているものと思われます。今日の社会でも建前が先行すると、どうも彼の話は観念的で……という評価をされそうですし、そうかとい

って本音ばかりでは、彼はいつまでも大人に成りきれない、青くささの抜けない男。という評価になりがちなのではないでしょうか。

私の会社も卸売業という性格上、毎日多くの人達と接触する機会に恵まれますが、これが文字通り昔から言われる十人十色で、建前ばかりだったり、本音だけだったり、建前の中にチョッピリ本音が覗いたり、その逆だったり、本当に様々な個性が毎日の仕事を楽しいものにしてきています。然し乍ら、時と場合によっては否応なく建前論ばかりで話さなければならぬ事もありますし、逆に無理矢理本音を吐かされる羽目になる事もあり得ます。人間、一夜だけで二度と会わなくともすむ相手との話でしたら、うまくバランスを取って済ませる事が出来ましようが、何回となくお会いして話しをする毎に本質が出て来る事になるわけです。それと、年齢あるいは経験が少しづつその人を変えていくという事もあります。建前ばかりで相手に呆れられたり、本音でこり押しして嫌がられたり、そんな経験を繰り返しているうちに、自然に自分のスタンスが決められて行くという事になります。

さて、昔と今という比較でこのテーマを考えてみますと、乱暴に言えば昔は本音型、今は建前主導と

言えるのでは…と思われます。

現代社会の創世期である明治の頃は、社会的にもまだ幼稚で、試行錯誤を繰り返していたでしょう。そんな時代には建前論など、ややもすれば吹っ飛ばされる勢いが社会全体に漲り、本音の堂々と罷り通る荒々しいとも言える世の中だったのだらうと想像します。

これが、時代を経て社会が成熟するにつれ、本音の部分で少しづつオブラートに包み、当たりの柔らかい、俗に言う大人の会話と言われるようなソフトな議論が尊重されるようになって来たのだらうと思われれます。現在の成熟し尽した社会、それも鶴岡という土地柄での社会状況や、ロータリークラブという好しい大人のサロンの集りに於いては、余りにも先鋭的な議論は好まれまいと思われれますが、いかがでしょうか。…そんなことはありませんよ、お前程度の若造の相手ぐらいいつでも引き受けますよ…そんな声が聞こえてきそうな気がしますけれど、どんなものでしょうか。

一方、これを洋の東西、即ち、欧米と日本との比較をしてみますと、欧米は本音型、日本は建前型と良く言われています。

最近テレビで、アメリカの議会のやりとりが頻繁に取り上げられますが、これが日本の国会論議と比べると、いかにも日本が建前社会だということをやというほど思い知らされます。あれなどは、政治用語等という不思議な言い回しが存在し、日本人の我々でさえ理解に苦しむ建前論となる次第です。

こうやって話を進めていると、私の主張が建前論を排し、本音をぶっつけ合わなければ、それは議論とは云えないという結論に落ち着きそうに聞こえるかと思われれますが、決してそうではありません。

私も46才。この会場の多くの先輩諸氏から見れば、まだ口ばしの黄色味が少し気になるころですが、それでも大人の仲間入りを果しつつある年になっている世代の一人です。本音ばかりの議論がややもすれば雰囲気悪くし、人を傷つけることが多いということは十分に認識しているつもりです。建前結構、建前論こそ社会の潤滑油としての役割を多に担っているものと主張するものであります。乍ら、この世の中、中庸ということを尊重します。従って、私の話も何だ彼だと申し上げましたが、とどのつまりは極端に傾かず、程々に建前と本音をという、いままで繰り返されてきた結論に落ち着く事になります。

さて、これから本題に入ります。

私もロータリークラブに入会して三ヶ月。今のところ毎週の例会に出席し、皆様方のお話を伺って帰るだけの繰り返しです。しばらくは、こんなペースで続けることになるのでしょうか。三ヶ月ではロータリーの事が少しはわかってきたとは到底申し上げられません。おそらく五年、十年続けるうちにその楽しさを知ることになるのだらうと思います。

これからの長いロータリー社会の中で、どのように建前と本音を使いわけていけばいいのかと今、考えています。

ここに一つの指針がありました。

それは、入会時に勉強するようにと渡された書籍

の中に「ロータリーの友」という本がありました。因に1988年第6号というものです。この中に歴代のガバナーの座談会が掲載されてありました。これはロータリークラブのそのあるべき姿をガバナーという大任を果された方々のかかなりシビアなやりとりが書かれてありました。色々な話をされておりましたが、その中で最も印象的だったのが次のような趣旨の部分でした。――日本のロータリークラブでは、日本的ロータリー運営を目指すよりも、ロータリーそのものがアメリカで育ったアメリカ文化そのものなだから、そのアメリカ文化を学ぶという気構えでやった方がよろしい。アメリカ式の対等で自立的な人間関係、そしてその基礎となる個人主義を学び身につける方向に進むべきである。――という下りです。乍ら、ガバナーのおっしゃった事が即、末端まで浸透するのは仲々難しいことなのは経験の浅い私にも承知できます。それでもロータリークラブの目指すのは、程の良い本音の集りということが理解出来て、何となく楽しい気分ではあります。

私がロータリークラブに入会したのは、本音の部分の多い話の出来る友人を持ちたいと思ったからです。十年、二十年かけてじっくり交友関係を育み、一人でも二人でも生涯の友と言える友人を持つことが出来れば最高です。その為の努力を、これから先少しづつやっていきたいと考えています。

出席委員会

○年間皆出席

2年間皆出席 忠鉢 徹君

○8月100%以上出席 6名

180%……新穂 160%……張

120%……石川(寿)、中江、斎藤(昭)、
笹原(信)

○8月100%出席 42名

阿蘇・藤川・布施・秋野(昭)・石井・石黒・
板垣(俊)・板垣(広)・市川・飯野・毛呂・迎田
松田・村中・中沢・佐藤(昇)・佐藤(忠)・
佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・佐藤(元)・
荘司・鈴木(善)・鈴木(弥)・関原・庄司・
佐々木・鈴木(肇)・高橋・丹下・杉澤・高田・
塚原・忠鉢・上野・碓氷・若生・山口・吉野・

日向・来海・富田(利)

I.G.F特別委員会

佐々木喆彦君

本日、I.G.F開催のプログラム及び役員配役を配布致しました。それぞれの委員会は、10日以内に委員会を開催されますようお願い致します。配布しましたプログラムに訂正があります。

・フォーラム終了予定16:30を15:15に訂正

・懇親会を懇親会終了予定に訂正

青少年奉仕委員会

碓氷節雄君

本日配布しましたローターアクト該当者登録のお願いは、事務局まで提出のほどお願いします。

9月13日の例会は、青少年奉仕委員会クラブ フォ

ーラムがあります。12時より食事、12時30分より開催です。

親睦活動委員会

石川寿男君

○9月会員誕生

松沢主一君・上野三郎君
阿部貢君・小池繁治君
本山弥君・加藤賢君

○9月奥様誕生

三井糸様・本山京子様
三井順子様・関原秋子様
忠鉢泰子様

○親睦ゴルフ大会開催のご案内

日時 9月13日(水) 12時15分集合
12時30分スタート
場所 湯の浜カントリークラブ
会費 3,000円(親睦会費含む)

庄内分区代理報告

新穂光一郎君

ロータリー財団奨学生須田里恵子さんが渡米しましてから1ヶ月余りとなりますが先日、須田さんより便りがありましたので報告致します。(紙面の都合で手紙の内容は、別紙にて配布します。)

スマイル

加藤賢君 例会の出鼻をくじまして。
富田直治君 前回の会報でスマイルの欄で荘司俊治君の名前を間違いました。
斎藤庄治君 本日6時30分より当方の主催で、テレビキャスター小川宏氏の講演

会が開催されますので。

張紹淵君 救急医療の関係で県より表彰されますので。
田中錦造君 営業窓口の改装が完成し、広く、明るくなりました。
佐藤元伸君 次男が国体に出場し、山形新聞に記載されました。

ロータリーの友9月号『ここが見どころ』

横組	あなたの指導力に活力を	P 4
	温故知新	P 26
	ゲートボールと輪投げで親睦	P 39
	ゲートボールの公式審判員をめざして	P 39
	お年寄りと子供たちとのふれあい	P 40
	少年ラグビー大会主催	P 41
	ジャンさんの自立	P 44
縦組	日本人の宗教	P 2
	深刻なゴミとの戦争	P 7
	会員全員が特別代表	P 13
	ロータリー大学	P 16
	好評だった各委員長の一言メモ	P 30
	1990年に会いましょう	P 31
	いつでも『友』を	P 31
	沸いた表彰式	P 34

ビジター

鶴岡西R.C 佐藤修弥君
佐藤詔昭君

9月20日のプログラム予定

○ゲストスピーチ
鶴岡市教育委員会教育長 生田謹吾様

MEMBER'S CORNER



OA機器

(株)山村

鶴岡市本町二丁目 22-2727

新世紀へ新技術で奉仕する

総合建設業

五 株式会社 温海佐藤組

代表取締役 佐藤五右衛門
代表取締役 佐藤衛
鶴岡営業所長

本社/温海町大字湯温海甲 305 ☎43-3233
鶴岡営業所/鶴岡市千石町 7-32 ☎24-1155

ポリオプラスを成功させよう 世界社会奉仕委員会

ポリオプラス募金にご協力ありがとうございました。